

BUNGAKUZA TSUSHIN 2026.6 Vol.802

文学座通信

- 本公演・地方公演「かさぶた式部考」
座談会 | 信じることと生きること……1～3
越塚 学×杉宮匡紀×鈴木結里×森 寧々×成田次郎
公演情報 …………… 4
- 「Fefu and Her Friends」座内合評会 —高橋ひろし… 5
- 鼎談「旅することばの劇場」という試み… 6～7
嶋山仁×山本郁子×前田麻登
- アトリエ短信…………… 8

|座談会| 信じることと生きること

演技部 杉宮匡紀

演技部 森寧々

演技部 越塚学

演技部 鈴木結里

演技部 成田次郎



文学座公演 紀伊國屋書店提携 後援 新宿区

かさぶた式部考

作 秋元松代
演出 松本祐子

5月29日(金)～6月6日(土)

新宿東口 紀伊國屋ホール

●戯曲を読んだ印象

「『かさぶた式部考』の初日まで約一か月。座組の若手の皆さんにお集まりいただきました。戯曲を最初に読んだときの印象から伺えますか？」

越塚 台本を開いて圧倒されたのは、まず方言ですね。九州の方言が脳内に流れ込んで、正直、最初は理解しにくかったです。二回目、三回目ですっかり内容がわかるようになりましたけど。

杉宮 方言については僕も同じです。ただ、ちょうど僕自身が宗教に興味があった時期と重なっていたので、信者の人たちの言葉の解像度の高さはすごく面白いと思いましたね。

成田 僕は宮崎出身なので、方言で引かかることはなくて。馴染みのある言葉だなど。でも「いつの時代か」という話なんだ、これは。怖い」というのが最初の印象でした。越塚 宮崎とはいえ、読むときの感覚はそれなりに違ったのかな。

成田 いや、違わないですね。お婆ちゃんとかお爺ちゃんの言葉遣いみたいな。語尾の感じとか、ところどころ違うんですけど、文字自体を読んだ感覚は一緒ですね。

鈴木 私も『マニラ瑞穂記』(秋元松代作、松本祐子演出)をやったので、言葉に関しては語尾とかが似てるなと思いました。でも作品としては女性性が強い。現代の私が読んでこれだけ女性の強さを感じるのに、秋元

さんが書かれた時代を考えると、今より相当インパクトがあったんだろうな。当時から、その苦しさ、女性ならではの感情を抱いていた人たちがいたんだなとも感じました。

森 私は逆に、方言と聞いてたから、めっちゃ構えて読んだら意外とするす入ってきて。方言でも言葉の意味がなんとなくわかるんだなと思いました。それで、信じて何だろうと。全部読み終わって、伊佐さんの悲劇があった後に、おめぐりさんがいっぱい出てきて、その出来事について話すのがちょっと怖く感じた。でも、今もこういう世界があるんだろうな。知ってるから幸せ。知らないから幸せ……。

何があるのかかわからないですけど。杉宮 今はSNSもあって、皆が情報を共有してる中で、それでも信じる力がある、信仰した力がある、このエネルギーって何なのか。今もまだ掴みきれないけど、この作品と役を通して理解したいと思うんです。

鈴木 私は台本を読んで、逆に宗教というか、噂話みたいなものから派生した伝承がこんなに大きな話になっちゃう力の怖さを感じます。でもそこに縋らないと生きていけない人たちがいて、それに助けられてる人もいると思ったら、不思議な気持ちになりますよね。

杉宮 最初に誰かが発した言葉が、受けとる側が生きやすいように、少しずつ歪曲されて、変わっていく。そうい

アトリエ短信



訃報 藤堂陽子

演技部の藤堂陽子さんが、4月19日に亡くなりました。享年77。

1948年生まれ。

1973年に『ムッシュ・S』(寺久保友哉作)

で初舞台を踏み、文学

座を中心に舞台や映像など幅広く活躍しました。謹んでお悔やみ申し上げます。

訃報 富田稔英 演出部の富田稔英さんが、4月22日に亡くなりました。享年73。

1952年生まれ。演出に加え、舞台監督、舞台美術・音響・衣裳等で座内外を問わず、幅広く活躍。東京アナウンス学院等で教鞭を執り、後進の育成にも尽力しました。謹んでお悔やみ申し上げます。

「みんなのアトリエ」のご案内

7月18日(土)〜21日(火)

信濃町・文学座アトリエ

※詳細はHPにてご確認ください。

電話お申し込み 6月8日(月) 11時〜

予約フォーム 6月9日(火) 11時〜

お申し込み・お問い合わせ

03-3351-7265

(10〜18時/土・日・祝を除く)

附属演劇研究所 研修科発表会

『キル』

作 野田秀樹 演出 小林勝也

6月26日(金) 18時半

27日(土) 13時半

28日(日) 13時半

※AとBでキャストの入れ替えがあります。

信濃町・文学座アトリエ

QRコード

QRコード

QRコード

QRコード

QRコード

QRコード

QRコード

QRコード

料金 2,000円

ご予約・全席指定・当日精算・消費税込

ご予約開始 6月10日(水) 19時

※ご予約はWEBのみとなります。

自主企画のご案内

1 トライリーディング 細川洋平書き下ろし

『仮衣裳のゴースト(仮)』

作 細川洋平 演出 西本由香

出演 廣田高志、栗田桃子、武田知久、小石川桃子、河野頭斗、松尾啓希ほか

8月2日(日) 11時半/15時

3日(月) 19時

料金 2,000円

(要予約・全席自由・当日精算・消費税込)

2 『マリアの首―幻に長崎を想う曲―』

作 田中千禾夫 演出 水野玲子

出演 大原康裕、田中由美子、山崎美貴、三浦純子、上川路啓志、下池沙知、相川春樹、キクチカンキ、山下瑛司、鶴田しげ里

8月3日(月) 13時

4日(火) 18時半

5日(水) 13時/18時半

6日(木) 13時

7日(金) 13時/18時半

8日(土) 13時/18時半

9日(日) 14時 ※9日午前中に長崎被爆

体験者交流証言講話開催予定(無料)

(要予約・全席自由・当日精算・消費税込)

※チケットサイト経由でのお申し込みの場合、事前振込も可

ご予約開始 6月上旬予定

信濃町・文学座アトリエ

お申し込み・お問い合わせ

03-3351-7265

(11〜17時/土・日・祝を除く)

QRコード

QRコード

QRコード

QRコード

ターホール

★鬼頭典子：『四番目の人』(イ・ボラム作、生田みゆき演出、沈池娟 訳) 6/19〜28 「劇」小劇場(下北沢)

★小野洋子：『聖なる炎』(サマセット・モーム作、小田島創志 訳、小笠原響 演出) 7/1 たましんRISURUホール[立川市市民会館]、7/2〜8/12 全国演鑑連(関東、中部・北陸、静岡)

☆栗田桃子、増岡裕子、sara：『マンザナ、わが町』(井上ひさし 作、鶴山仁 演出) 7/10〜23 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA

☆文学座支持会、パートナーズ倶楽部 会員様の特別値引があります。 詳細は文学座 TEL03-3351-7265

★平体まひろ：『夢去りて、オルフェ』(清水邦夫 作、大河内直子 演出) 8/21〜30 東京芸術劇場シアターウエスト(池袋)

※特別先行予約(受付期間 6/15〜21) https://eplus.jp/orpheus_hirataimahiro

劇場 ハレノワ

★常住富大：『ハムレット』(W・シェイクスピア 作、松岡和子 訳、デヴィッド・ルヴォー 演出) 6/5〜14 SkyシアターMBS(大阪)、6/20・21 名古屋文理大学文化フォーラム[稲沢市民会館]

★平体まひろ：『花よりタンゴ』(井上ひさし 作、栗山民也 演出) 6/5 東ソーアリーナ(山形)、6/13・14 トーサイクラシックホール岩手[岩手県民会館]、6/20・21 能登演劇堂、6/26〜28 新歌舞伎座(大阪)

★浅野雅博、星智也：『リチャード三世』(W・シェイクスピア 作、松岡和子 訳、森新太郎 演出) 6/6・7 森ノ宮ピロティホール(大阪)、6/13・14 東海市芸術劇場(愛知)、6/20・21 久留米シティプラザ(福岡)、6/27 奥州市文化会館(岩手)

★沢田冬樹：『喝采〜「イヴの総て」より〜』(メアリー・オア 原作、保坂磨理子 訳、鈴木孝宏 演出) 6/10・11 豊洲ピピックセン

出演情報

◎追加情報は文学座HPにて

★乃村美絵：『ハリー・ポッターと呪いの子』(J.K.ローリングオリジナルストーリー、ジャック・ソーンオリジナルストーリー・脚本、小田島恒志・小田島則子 訳、ジョン・ティファニー オリジナルストーリー・演出) ~2026年6月末 TBS赤坂ACTシアター

★石田圭祐、櫻井章喜：ミュージカル『GYPSY』(ステイヴン・ソンドハイム 作詞、アーサー・ローレンツ 脚本、高橋亜子 訳・訳詞、クリストファー・ラスコム 演出) 6/5〜7 刈谷市文化センターアイリス(愛知)、6/12〜14 キャナルシティ劇場(福岡)、6/19〜23 森ノ宮ピロティホール(大阪)

★松岡依都美、山岡隆之介：『リア王』(W・シェイクスピア 作、小田島雄志 訳、長塚圭史 演出) 6/5〜7 愛知県芸術劇場、6/11〜14 梅田芸術劇場 シアター・ドラマシティ、6/19〜21 J:COM北九州芸術劇場(福岡)、6/25〜27 岡山芸術創造